高梁かんごねっと新聞

ーお届けします職場情報ー

発行
第 12 号

高梁市特別養護老人ホーム　鶴寿荘

高梁市特別養護老人ホーム鶴寿荘は、昭和６３年９月に設立されました。

鶴寿荘は現在、会計年度職員を含む１５名の介護職員と３名の看護師、５名の給食調理員等が働いています。

令和６年には、介護職員の負担軽減のためＩＣＴを導入し、記録時間の大幅な削減と夜間の入所者の行動把握に役立てています。また、福祉ロボットも導入し、入所者と職員のお互いが安心安全に移乗介助を行うことができるようになりました。

とはいえ、施設自体は老朽化が目立ちますが、若手職員が率先して介護・看護職員と入所者が一緒に作成した掲示物を廊下等に飾って施設に彩を持たせてくれています。

鶴寿荘の自慢の一つでもあるのが食事です。毎朝鰹節や昆布から出汁を取っていて、ほとんどの料理が手作りなので入所者からも大変ご好評をいただいています。そして、経口摂取できるということを大切にし、一人ひとりに合わせた細かな食事形態での提供を行っています。

どんなに大切な家族であっても最期まで自宅で介護をするということは難しいことです。また、在宅介護は終わりが見えず、時に優しくできないときがあります。しかし、多くのご家族が施設入所という選択には迷われます。
だからこそ、家族の代わりに専門職である職員が介護の提供や入所者に優しく接してあげたいと思っています。
そして、迷っていたご家族から「鶴寿荘を選んでよかった」と言っていただける施設を今後も目指していきたいと思います。





ケアポート生き活き館　巨瀬



社会福祉法人生き活き館
ケアポート生き活き館巨瀬は、H23 年４月に高梁市巨瀬町に開設した、グループホーム（定員 18 名）と小規模多機能型居宅介護（登録 12 名）を併設した施設です。

グループホームでは、介護方針である、「目配り・気配り・手配り・孫の手介護」を基本理念に、利用者様の生活・自立の支援をさせて頂いています。全室個室対応となっておりますので、私的空間と共有空間を活用して頂けます。
少人数の生活環境の中で、一人ひとりが「生活する力」を発揮しながら認知症の進行を緩やかにし、安定した状態で過ごせるように介護・支援を行っています。

小規模多機能型居宅介護では、「通い」を中心として、「泊まり」、「訪問」のサービスを同一事業所の職員が提供することで安心感が得られ、また、在宅での生活が継続できるよう支援することを目的としています。

生き活き館巨瀬では、地域のご協力もあり、八幡神社のお祭りや巨瀬地域の文化祭への参加等地域交流を積極的に図っています。

地域に根差し、また、開かれたサービスの提供を行うことで、地域の社会資源として、介護を必要とされている多くの利用者が、介護が必要になっても住み慣れた地域で介護サービスが受けられるよう今後も職員一同邁進していきたいと思います。




＊　研修会のお知らせ　＊

★ 皮膚排泄ケア研修会
（多職種研修会）
日時：11 月 18 日（火）
時間：18：30～
場所：高梁市役所　会議室
講師：成羽病院
皮膚排泄ケア認定看護師
丸橋理絵氏
ー以降も研修会を計画していますー

★　研修会を実施しました　★

摂食嚥下研修会を実施しました。
「安全なひと口を導くケア～介護者にできること・すべきこと～」と題し、８月 26 日（火）18：30 より、高梁市役所にて開催しました。
多職種 49 名の方々の参加がありました。
各自でスプーンを持参し、食事介助時の持ち方、食事時の姿勢調整の重要性、各関節角度など学びました。
腰部・両膝関節・足関節 90°保持！
90°ルールを学びました。




足は床につけること

高梁かんごねっと
事務局 ： 担当 原田
TEL ：0866-22-3801
FAX ：0866-22-7794
E-meil kangonet@ps5.harenet.ne.jp

ご質問、ご意見はかんごねっと事務局までお願い致します。

2025．10